

令和4年三重県議会定例会

予 算 決 算 常 任 委 員 会
教 育 警 察 分 科 会 資 料

所管事項調査

資料1 債権処理計画(令和3年度実績・令和4年度目標)について

資料2 令和5年度当初予算編成に向けての基本的な考え方について

付託議案審査

資料3 令和3年度歳入歳出決算補充説明書

令和4年11月1日
警 察 本 部

債権処理計画（令和3年度実績・令和4年度目標）について

三重県警察本部

令和3年度 債権処理計画（実績）

総括票	-----	1
個 票		
放置違反金	-----	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	-----	3
損害賠償金弁償金（大型道路標識）	-----	4
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	-----	5
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	-----	6
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	-----	7
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	-----	8
自動販売機等光熱水費負担金（松阪署）	-----	9
自動販売機等光熱水費負担金（いなべ署）	-----	10

令和4年度 債権処理計画（目標）

総括票	-----	11
個 票		
放置違反金	-----	12
損害賠償金弁償金（交通信号機）	-----	13
損害賠償金弁償金（大型道路標識）	-----	14
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	-----	15
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	-----	16
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	-----	17
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	-----	18
自動販売機等光熱水費負担金（いなべ署）	-----	19

様式(実績2)

令和3年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		B 当初(令和2年度末)				C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)				D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末B-D+E	主な債権
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	回収率 C/B(%)	前年比 D/A(%)	処理件数	未済件数	回収率 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数				
3-1 強制徴収 公債権	回収対象	1,929,859 円		1,700,000 円		88.1		1,515,000 円		78.5	89.1							
		133 件		115 件		86.5		101 件		75.9	87.8							
	整理対象	331,000 円		300,000 円		90.6		121,000 円		36.6	40.3							
		20 件		20 件		100.0		8 件		40.0	40.0							
計	2,260,859 円	3,744,632 円	2,000,000 円		53.4	88.5	1,636,000 円		43.7	72.4	81.8	996,000 円	3,104,632 円					
		153 件	252 件	135 件		53.6	88.2	109 件		43.3	71.2	80.7	69 件	212 件				
3-2 非強制徴収 公債権	回収対象	0 円		0 円				0 円										
		0 件		0 件				0 件										
	整理対象	0 円		0 円				0 円										
		0 件		0 件				0 件										
計	0 円	0 円	0 円				0 円					0 円	0 円					
		0 件	0 件	0 件			0 件					0 件	0 件					
3-3 私債権	回収対象	203,000 円		2,649,910 円		1,305.4		404,910 円		199.5	15.3							
		0 件		1 件				1 件			100.0							
	整理対象	0 円		0 円				0 円										
		0 件		0 件				0 件										
計	203,000 円	30,957,389 円	2,649,910 円		8.6	1,305.4	404,910 円		1.3	199.5	15.3	42,635 円	30,595,114 円					
		0 件	18 件	1 件		5.6	1 件		5.6	100.0		1 件	18 件					
合計	回収対象	2,132,859 円		4,349,910 円		203.9		1,919,910 円		90.0	44.1							
		133 件		116 件		87.2		102 件		76.7	87.9							
	整理対象	331,000 円		300,000 円		90.6		121,000 円		36.6	40.3							
		20 件		20 件		100.0		8 件		40.0	40.0							
計	2,463,859 円	34,702,021 円	4,649,910 円		13.4	188.7	2,040,910 円		5.9	82.8	43.9	1,038,635 円	33,699,746 円					
		153 件	270 件	136 件		50.4	88.9	110 件		40.7	71.9	80.9	70 件	230 件				

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 回収対象事案に対しては、官公署、インフラ関係に対する追跡調査を十分に行った上、自動車検査上の使用者が判明した場合、電話催促だけでなく訪問催促を行い、自主的な納付を行わせるとともに、納付に応じない者については財産差し押え(滞納処分)を行う。 追跡調査の結果、対象者が死亡、国外出国等の理由により債権回収の見込みがないものについては、整理対象として処理を行う。
8 取組成果	<p>令和3年度当初目標(回収対象1,700,000円、整理対象300,000円)を達成するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話催促、訪問催促 金融機関に対する預貯金照会 滞納者の預貯金や、雇用先から支払われる給与の差押えを行った結果、回収実績は1,515,000円であった。 <p>また整理対象については、新たな対象の発見に至らず、整理実績は121,000円であった。</p>

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		B 当初(令和2年度末)		C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)			D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率	処理額	回収率・整理率	目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-1 強制徴収公債権	回収対象	1,929,859 円		1,700,000 円	回収率	88.1	1,515,000 円	回収率	78.5	89.1				
		133 件		115 件	回収率	86.5	101 件	回収率	75.9	87.8				
	整理対象	331,000 円		300,000 円	整理率	90.6	121,000 円	整理率	36.6	40.3				
		20 件		20 件	整理率	100.0	8 件	整理率	40.0	40.0				
	計	2,260,859 円	3,744,632 円	2,000,000 円	回収率	53.4	88.5	1,636,000 円	回収率	43.7	72.4	81.8	996,000 円	3,104,632 円
		153 件	252 件	135 件	回収率	53.6	88.2	109 件	回収率	43.3	71.2	80.7	69 件	212 件

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	分割納付計画に従った納付を促し、納付が滞った債務者に対しては電話催促、訪問等により債権回収を図っていきます。
8 取組成果	電話催告及び自宅訪問を実施して納付を促したが、生活困窮のため納入が滞り、目標金額の回収には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		C 令和3年度目標 (3年度発生分を除く。)				D 実績(令和3年度末) (3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分 期末残高	F 令和3年度末 B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3 私債権	回収対象	203,000円		2,460,000円	回収率	1,211.8	345,000円	回収率	170.0	14.0				
		0件		0件	回収率		0件	回収率						
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率						
		0件		0件	整理率		0件	整理率						
	計	203,000円	21,020,400円	2,460,000円	処理率	11.7	1,211.8	345,000円	処理率	1.6	170.0	14.0	0円	20,675,400円
		0件	12件	0件	処理率	0.0		0件	処理率	0.0			0件	12件

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(大型道路標識)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う大型道路標識の損壊に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	令和3年度の当初目標(回収対象・120,000円)を達成するため、定期的に電話催促等を実施して、債務者に納付を促したものの、生活困窮者であり、分割納付計画に従うことができず、目標の金額には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		B 当初(令和2年度末)			C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)					D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)			E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額				
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数				
9-3 私債権	回収対象	0円	/	120,000円	回収率		30,000円	回収率		25.0	/	/				
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/				
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/				
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/				
	計	0円	750,000円	120,000円	知照率	16.0	30,000円	知照率	4.0	25.0	0円	720,000円				
		0件	1件	0件	知照率	0.0	0件	知照率	0.0		0件	1件				

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させた、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっておりますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		B 当初(令和2年度末)			C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)					D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)			E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額				
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数				
9-3 私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/				
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/				
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/				
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/				
	計	0円	8,828,119円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0		0円	8,828,119円				
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		0件	1件				

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置場面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口のアクリルボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっていますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		C 令和3年度目標 (3年度発生分を除く。)				D 実績(令和3年度末) (3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分 期末残高	F 令和3年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3 私債権	回収対象	0円		0円	回収率		0円	回収率					
		0件		0件	回収率		0件	回収率					
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率					
		0件		0件	整理率		0件	整理率					
	計	0円	48,600円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0			0円	48,600円
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0			0件	1件

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山警察署川崎駐在所において、同事務所の入り口引き戸ガラスに投石し、これを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっておりますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		C 令和3年度目標 (3年度発生分を除く。)				D 実績(令和3年度末) (3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分 期末残高	F 令和3年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3 私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/	
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/	
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/	
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/	
	計	0円	45,360円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0		0円	45,360円	
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		0件	1件	

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南警察署諏訪交番において、同交番に設置の掲示板を蹴って損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	債務者の生活困窮のため納入が滞り、目標金額の回収には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		B 当初(令和2年度末)		C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)			D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		48,000円		回収率		8,000円	回収率		16.7			
		0件		0件		回収率		0件	回収率					
	整理対象	0円		0円		整理率		0円	整理率					
		0件		0件		整理率		0件	整理率					
	計	0円	243,000円	48,000円		処理率	19.8	8,000円	処理率	3.3		16.7	0円	235,000円
		0件	1件	0件		処理率	0.0	0件	処理率	0.0			0件	1件

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ(令和3年4月23日納付、5月6日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	松阪警察署

7 取組方針	令和3年5月6日に収納済みです。
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績		C 令和3年度目標 (3年度発生分を除く。)			D 実績(令和3年度末) (3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分 期末残高	F 令和3年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数		全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数		全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		21,910円	回収率		21,910円	回収率			100.0			
		0件		1件	回収率		1件	回収率			100.0			
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率						
		0件		0件	整理率		0件	整理率						
	計	0円	21,910円	21,910円	知理率	100.0		21,910円	知理率	100.0		100.0	0円	0円
		0件	1件	1件	知理率	100.0		1件	知理率	100.0		100.0	0件	0件

様式(実績1)

令和3年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ(令和4年4月28日納付、令和4年5月10日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	いなべ警察署

7 取組方針	令和4年5月10日に収納済みです。
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和3年度実績

債権の性格	種別	A 令和2年度実績	B 当初(令和2年度末)	C 令和3年度目標(3年度発生分を除く。)			D 実績(令和3年度末)(3年度発生分を除く。)				E 3年度発生分期末残高	F 令和3年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 G/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		0円	回収率		0円	回収率				
		0件		0件	回収率		0件	回収率				
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率				
		0件		0件	整理率		0件	整理率				
	計	0円	0円	0円	回収率		0円	回収率			42,635円	42,635円
		0件	0件	0件	回収率		0件	回収率			1件	1件

様式(目標2)

令和4年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末	B 令和4年度 目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)	主な債権
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
3-1 強制徴収 公債権	回収		1,600,000 円	回収率	105.6	1,515,000 円	
			110 件	回収率	108.9	101 件	
	整理		141,000 円	整理率	116.5	121,000 円	
			9 件	整理率	112.5	8 件	
	計	3,104,632 円	1,741,000 円	処理率	56.1	1,636,000 円	
		212 件	119 件	処理率	56.1	109 件	
3-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率		0 円	
			0 件	回収率		0 件	
	整理		0 円	整理率		0 円	
			0 件	整理率		0 件	
	計	0 円	0 円	処理率		0 円	
		0 件	0 件	処理率		0 件	
3-3 私債権	回収		2,262,635 円	回収率	590.8	383,000 円	
			1 件	回収率		0 件	
	整理		0 円	整理率		0 円	
			0 件	整理率		0 件	
	計	30,595,114 円	2,262,635 円	処理率	7.4	383,000 円	
		18 件	1 件	処理率	5.6	0 件	
合計	回収		3,862,635 円	回収率	203.5	1,898,000 円	
			111 件	回収率	109.9	101 件	
	整理		141,000 円	整理率	116.5	121,000 円	
			9 件	整理率	112.5	8 件	
	計	33,699,746 円	4,003,635 円	処理率	11.9	2,019,000 円	
		230 件	120 件	処理率	52.2	109 件	

※ 前年度に完済した債権は、現年度の債権処理計画(目標)を作成しないことから、C欄に含まれません。
完済した債権を含む前年度の債権処理実績は、別冊「債権処理計画(実績)」でまとめています。

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取 組 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納者に対して、市町村役場や電気、ガス等の生活インフラに対する所在調査を十分に行い、その把握に努める。 ・滞納者の所在判明後は、電話催促、訪問催促を行い、違反金の回収を行う。 ・訪問催促等を行っても違反金の回収を行えないものについては、滞納者の資産照会を行い預貯金等の現金を差押える他、滞納者居宅に対する捜索を行い、ゲーム機等換価処分が望めるものを差押え、インターネット公売を活用し、その売却益を違反金に充当する。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権 にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)		備考
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率	処理額	処理件数		
					全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)			
8-1 強制徴収 公債権	回収			1,600,000 円	回収率	105.6	1,515,000 円		
				110 件	回収率	108.9	101 件		
	整理			141,000 円	整理率	116.5	121,000 円		
				9 件	整理率	112.5	8 件		
	計		3,104,632 円		1,741,000 円	処理率	56.1	1,636,000 円	
			212 件		119 件	処理率	56.1	109 件	

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	継続的に電話又は自宅訪問を行い、支払いを催促するとともに、債務者の稼働状況や生活状況を入念に調査し、債権回収を図っていきます。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末	B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収		2,040,000 円	回収率		591.3	345,000 円	
			0 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
	計		20,675,400 円	2,040,000 円	処理率	9.9	591.3	345,000 円
			12 件	0 件	処理率	0.0		0 件

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(大型道路標識)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う大型道路標識の損壊に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	電話催促、訪問等を行い、分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末	B 令和4年度 目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
私債権	回収		120,000 円	回収率		400.0	30,000 円	
			0 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
	計		720,000 円	120,000 円	処理率	16.7	400.0	30,000 円
			1 件	0 件	処理率	0.0		0 件

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させた、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっておりますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
-----------	---

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率		処理額		
				処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収			0 円	回収率		0 円		
				0 件	回収率		0 件		
	整理			0 円	整理率		0 円		
				0 件	整理率		0 件		
	計		8,828,119 円		0 円	処理率	0.0	0 円	
			1 件		0 件	処理率	0.0	0 件	

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置場面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口の亚克力ボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっておりますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
-----------	---

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収	/		0 円	回収率			0 円	
		/		0 件	回収率			0 件	
	整理	/		0 円	整理率			0 円	
		/		0 件	整理率			0 件	
	計	48,600 円		0 円	処理率	0.0		0 円	
		1 件		0 件	処理率	0.0		0 件	

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山署川崎駐在所入り口の引き戸に投石し、ガラスを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取 組 方 針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっておりますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額	
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
8-3 私債権	回収	/		0 円	回収率			0 円	
		/		0 件	回収率			0 件	
	整理	/		0 円	整理率			0 円	
		/		0 件	整理率			0 件	
	計	45,360 円		0 円	処理率	0.0		0 円	
		1 件		0 件	処理率	0.0		0 件	

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南署諏訪交番の掲示板のガラスを蹴破り、背板とホワイトボード等を損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
--------	-------------------------------

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)		備考
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額	
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
8-3 私債権	回収			60,000 円	回収率		750.0	8,000 円	
				0 件	回収率			0 件	
	整理			0 円	整理率			0 円	
				0 件	整理率			0 件	
	計		235,000 円	60,000 円	処理率	25.5	750.0	8,000 円	
		1 件	0 件	処理率	0.0		0 件		

様式(目標1)

令和4年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ (令和4年4月28日納付、令和4年5月10日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	いなべ警察署

7 取組方針	令和4年5月10日に収納済みです。
--------	-------------------

滞納債権の現状

8 令和4年度目標

債権の性格	種別	A 令和3年度末		B 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)			C 令和4年度当初に存在する債権にかかる令和3年度処理額 (3年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率		処理額	処理件数		
					全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)				
8-3 私債権	回収			42,635 円	回収率			0 円		
				1 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		42,635 円		42,635 円	処理率	100.0		0 円	
			1 件		1 件	処理率	100.0		0 件	

施策 3-1 犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

施策の目標

(めざす姿)

県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会を構築するため、市町や地域住民、防犯ボランティア団体等との連携による犯罪防止に向けた取組や、県民の皆さんに不安を与える犯罪の早期検挙、これら警察活動を支える基盤の強化が推進されています。また、犯罪被害者等を支える社会の形成に向けて、犯罪被害者等の立場に立った適切かつきめ細かな支援が途切れることなく提供されています。

(課題の概要)

子どもや女性が被害に遭う性犯罪や重要犯罪、ストーカー・DV事案や高齢者等を狙った特殊詐欺、サイバー犯罪が高止まりするなど、治安情勢は予断を許さない状況にあり、犯罪防止の取組と犯罪の早期検挙が求められています。また、「三重県犯罪被害者等支援条例」に基づき、犯罪被害者等への支援体制を底上げすることが求められています。

現状と課題

- ①犯罪の悪質化・巧妙化、取調べをめぐる環境の変化等に伴って客観証拠の重要性が高まる中、防犯カメラ画像の収集とその分析に多大な時間と捜査力を要していることから、捜査資機材を整備し、活用することで、捜査の効率化、人的資源の有効活用を図る必要があります。
- ②鑑定機器の増加等に伴い、本部庁舎内にある科学捜査研究所の狭隘化が進んでいることから、鑑定環境の改善と鑑定の高度化・効率化を図るため、独立庁舎を整備する必要があります。
- ③老朽化した警察署の建て替え及び長寿命化を計画的に進め、地域の治安維持、災害対策の拠点となる警察施設を適正に維持管理する必要があります。また、パトカー等の車両の配備、装備資機材の充実により警察活動を支える基盤を強化し、効果的な警察活動を推進する必要があります。
- ④極めて深刻な情勢にあるサイバー空間の脅威に対処するため、高度化・複雑化するサイバー犯罪の取締りを強化するほか、サイバー犯罪に関する相談が後を絶たないことから、被害防止対策を推進するなど、サイバー空間の安全安心の確保に向けた取組を推進する必要があります。
- ⑤子どもや女性、高齢者等が被害に遭う犯罪は後を絶たず、通学路等における子どもの安全確保、高齢者が特殊詐欺被害に遭わないための取組が求められていることから、市町や地域住民、ボランティア団体等との連携の下、各種犯罪の未然防止に向けた取組を推進する必要があります。
- ⑥令和5年度には、国内でG7広島サミットが開催されるほか、県内でもG7交通大臣会合が開催されます。こうした大規模行事に出席する国内外要人等の身辺の安全を確保するとともに、行事の円滑な進行を確保するため、警備に万全を期する必要があります。

- ⑦「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」に基づき、安全で安心な三重のまちづくりをオール三重で推進しています。防犯活動の担い手不足や高齢化、県民の治安に対する不安感に対応するため、自主防犯活動の活性化や意識啓発に取り組む必要があります。
- ⑧「三重県犯罪被害者等支援条例」をふまえて策定した「三重県犯罪被害者等支援推進計画」（令和元年12月）に基づき、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進しています。犯罪被害者等のおかれている状況はさまざまであり、求められる支援も多岐にわたることから、市町をはじめとする関係機関等との連携を強化し、総合的な支援体制を整備することが求められています。

令和5年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

警察本部

- ①デジタル技術を活用した画像解析機器を導入するほか、DNA型の鑑定や解析を緻密かつ効率的に実施できるよう科学捜査研究所の独立庁舎の整備を進めるなどし、捜査支援分析、科学捜査の強化を図り、重要犯罪を始め、暴力団犯罪、窃盗や特殊詐欺を集団で敢行する組織犯罪、サイバー犯罪など、県民の皆さんに不安を与える犯罪の早期検挙に取り組めます。
- ②令和4年度に引き続き、老朽化、狭隘化が著しい大台警察署について災害等有事の際の即応体制、災害活動拠点としての機能に配慮しつつ、人口減少・高齢化社会に適応した庁舎の建て替え整備に取り組めます。また、老朽化した尾鷲警察署を大規模改修して長寿命化するとともに、来庁者が利用しやすい施設となるよう整備を進めます。
- ③老朽化した駐在所の建て替え、長寿命化に取り組むとともに、パトカー等の車両の配備、山岳事故等の救助活動に必要な装備資機材の充実を図るなど、警察活動を支える基盤の整備に取り組めます。
- ④サイバー空間の脅威に的確に対処するため、サイバー犯罪捜査の中核となる専門的な捜査員の育成に取り組むとともに、演習環境の高度化及び情報技術の解析に用いる資機材の整備等を推進します。
- ⑤県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会の実現に向け、市町や地域住民、ボランティア団体等との連携の下、特殊詐欺をはじめとする各種犯罪を未然に防ぎ、社会全体で良好な治安が保たれるよう取組を推進します。
- ⑥県内外で開催される大規模行事を見据え、テロの未然防止に向けて、県民の皆さんの理解と協力の下、官民一体となった各種テロ対策を強化します。

環境生活部

- ⑦持続可能な地域防犯を促進するため、新たに事業者の協力を得た女性・子どもをはじめとする地域の見守り活動を推進するとともに、体感治安の向上につなげるため、防犯活動の「見える化」を図ります。

⑧犯罪被害者等の状況に応じた必要な支援を適切に行うため、関係機関との顔の見える関係づくりや支援従事者研修会等の開催を通じて、総合的な支援体制を整備します。また、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するため、犯罪被害者等に対する県民の皆さんの理解を深める取組を推進します。

KPI（重要業績評価指標）

項目 (項目の説明)	令和3年度	4年度	5年度	8年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知件数 (刑法犯(道路上の交通事故に係る業務上(重)過失致死傷を除く)について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理した件数)	7,410件	6,900件未満 —	6,300件未満 —	5,000件未満 —
特殊詐欺認知件数 (特殊詐欺について、1年間に被害の届出を受理した件数)	110件	107件未満 —	104件未満 —	95件未満 —
重要犯罪の検挙率 (重要犯罪に係る当該年の認知件数に対する検挙件数の割合)	89.7%	95%以上 —	95%以上 —	95%以上 —
犯罪被害者等支援従事者数 (犯罪被害者等支援体制の充実・強化のため、犯罪被害者等の対応力(知識・技能)を習得・向上させる研修会に参加した市町、関係機関の延べ職員数)	177人	257人 —	337人 —	577人 —

令和 3 年度 歳入歳出決算補充説明書

令和4年11月1日

警察本部

令和3年度一般会計歳入歳出決算について御説明いたします。

【歳入】

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	53億9,964万8,800円
調定額	52億3,294万9,697円
収入済額	51億9,919万1,951円
不納欠損額	5万8,000円
収入未済額	3,369万9,746円

となりました。

【歳出】

警察費の歳出決算額は、

予算現額	379億3,087万7,800円
支出済額	375億7,748万8,033円
翌年度繰越額	1億9,741万7,600円
不用額	1億5,597万2,167円

となりました。

以下、「令和3年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明します。

まず、歳入決算についてです。

46頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	381万5,000円
調定額	381万5,855円
収入済額	381万5,855円

収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用、自動販売機の設置等に係る建物使用料です。

64頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	20億4,181万2,000円
調定額	20億2,817万1,870円
収入済額	20億2,817万1,870円

収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、更新時講習等手数料、高齢者講習手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料です。

84頁の第9款国庫支出金、第2項国庫補助金、第3目衛生費補助金のうち警察本部関係は、

予算現額	26万2,000円
調定額	28万3,000円
収入済額	28万3,000円

収入済額の全てが医療施設運営費等補助金です。

102頁の第9目警察費補助金は、

予算現額	6億9,055万7,000円
調定額	6億2,991万4円
収入済額	6億2,991万4円

収入済額は、警察費補助金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金であります。

収入済額が予算現額に比べ、6,064万6,996円の減収となりましたが、これは、警察費補助金充当事業及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業で翌年度繰越が生じたほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業に執行残が生じたことによるものです。

120頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億	942万8,000円
調定額	1億	870万2,268円
収入済額	1億	870万2,268円

収入済額の主なものは、警察職員住宅からの家賃下料です。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	449万1,000円
調定額	490万7,189円
収入済額	490万7,189円

収入済額の主なものは、不用物品売払収入です。

128頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	374万4,000円
調定額	373万4,000円
収入済額	373万4,000円

収入済額の全てが、財政調整基金繰入金です。

130頁の第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金のうち警察本部関係は、

予算現額	340万8,800円
調定額	340万8,800円
収入済額	340万8,800円 で、

収入済額は、令和2年度から令和3年度に繰り越した事業に充当したものです。

132頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	3万5,000円
調定額	1万1,800円
収入済額	1万1,800円 で、

収入済額の主なものは、放置違反金の延滞金です。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	2,506万6,000円
調定額	2,836万円
収入済額	2,736万4,000円
収入未済額	99万6,000円 で、

収入済額の全てが、放置違反金です。

なお、収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

142頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	2億	789万7,000円
調定額	2億	996万8,110円
収入済額	2億	992万5,475円
収入未済額		4万2,635円 で、

収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料です。

なお、収入未済額は、自動販売機等光熱水費負担金の滞納によるものです。

146頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	213万8,000円
調定額	3,477万7,821円
収入済額	205万8,710円
不納欠損額	5万8,000円
収入未済額	3,266万1,111円 で、

収入済額の主なものは、放置違反金です。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。

第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	282万1,000円
調定額	272万4,740円
収入済額	272万4,740円

収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金です。

第6目違約金及び延納利息のうち警察本部関係は、

予算現額	17万4,000円
調定額	17万4,240円
収入済額	17万4,240円

収入済額の全てが、業務委託契約に伴い違約金が生じたことによるものです。

164頁の第15款県債、第1項県債、第8目警察債は、

予算現額	23億400万円
調定額	21億7,400万円
収入済額	21億7,400万円

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当です。

収入済額が予算現額に比べ、1億3,000万円の減収となりましたが、これは、充当事業で翌年度繰越が生じたほか、充当事業で減額が生じたことによるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明しました。

なお、未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者には、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明します。

第9款警察費のうち、424頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額	637万9,000円
支出済額	575万6,395円
不用額	62万2,605円

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費です。

第2目警察本部費は、

予算現額 322億3,641万2,000円

支出済額 321億7,832万6,692円

不用額 5,808万5,308円 で、

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、施設運営などに要した経費です。

不用額の主なものは、給与費における職員手当、共済負担金の執行残などです。

426頁の第3目装備費は、

予算現額 5億1,837万3,000円

支出済額 4億9,267万9,537円

不用額 2,569万3,463円 で、

支出済額の主なものは、警察用車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費です。

不用額の主なものは、ヘリコプター修繕料の執行残などです。

428頁の第4目警察施設費は、

予算現額 6億4,463万9,800円

支出済額 4億4,599万5,725円

翌年度繰越額 1億8,365万1,600円

不用額 1,499万2,475円 で、

支出済額の主なものは、警察施設の空調設備更新工事、駐在所建築工事などに要した経費です。

翌年度繰越額は、警察署の建替及び改修工事、警察施設の空調設備更新工事に伴う経費などです。

不用額の主なものは、警察署防水改修工事費、駐在所建築工事費の入札差金などです。

第5目運転免許費は、

予算現額 9億5,428万3,000円

支出済額 9億4,397万7,181円

不用額 1,030万5,819円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費です。

不用額の主なものは、高齢者講習委託料の執行残などです。

430頁の第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	2,496万8,000円
支出済額	2,405万3,530円
不用額	91万4,470円 で、

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費です。

次に、第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	2億9,277万1,000円
支出済額	2億9,048万8,629円
不用額	228万2,371円 で、

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話や留置施設の維持管理等に要した経費です。

不用額の主なものは、有料道路通行料、警察電話専用料の執行残などです。

432頁の第2目刑事警察費は、

予算現額	8億1,509万6,000円
支出済額	7億8,560万5,905円
不用額	2,949万95円 で、

支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の早期検挙、暴力団排除活動、テロ対策など各種対策の推進に要した経費です。

不用額の主なものは、皇室御来県が見送られたことに伴い警備が実施されなかったことによるテロ対策に要する経費の執行残などです。

434頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	4億1,734万2,000円
支出済額	4億977万406円
不用額	757万1,594円 で、

支出済額は、交通指導取締り、交通事故・事件の捜査、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費です。

不用額の主なものは、道路使用許可、自動車保管場所証明関係委託料の執行残などです。

436頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	20億2,061万4,000円
支出済額	20億83万4,033円
翌年度繰越額	1,376万6,000円
不用額	601万3,967円 で、

支出済額は、交通管制センターの維持、交通信号機や道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費です。

翌年度繰越額は、緊急の通学路対策として、令和3年度1月補正予算で容認された交通安全対策経費です。

不用額の主なものは、信号機改良工事費等の執行残などです。

以上、令和3年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明しました。

令和3年度歳入歳出決算(警察本部関係)

【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	2,045,627,000	2,031,987,725	2,031,987,725			△ 13,639,275
国庫支出金	690,819,000	630,193,004	630,193,004			△ 60,625,996
財産収入	113,919,000	113,609,457	113,609,457			△ 309,543
繰入金	3,744,000	3,734,000	3,734,000			△ 10,000
繰越金	3,408,800	3,408,800	3,408,800			
諸収入	238,131,000	276,016,711	242,258,965	58,000	33,699,746	4,127,965
県債	2,304,000,000	2,174,000,000	2,174,000,000			△ 130,000,000
合計	5,399,648,800	5,232,949,697	5,199,191,951	58,000	33,699,746	△ 200,456,849

【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額の内容)
警察管理費	34,385,054,800	34,090,789,060	183,651,600	110,614,140	
公安委員会費	6,379,000	5,756,395		622,605	
警察本部費	32,236,412,000	32,178,326,692		58,085,308	・職員手当、共済負担金の執行残
装備費	518,373,000	492,679,537		25,693,463	・ヘリコプター修繕料の執行残
警察施設費	644,639,800	445,995,725	183,651,600	14,992,475	・駐在所建築工事費、警察署防水改修工事等の工事費の執行残
運転免許費	954,283,000	943,977,181		10,305,819	・高齢者講習委託料等の執行残
恩給及び退職年金費	24,968,000	24,053,530		914,470	
警察活動費	3,545,823,000	3,486,698,973	13,766,000	45,358,027	
一般警察活動費	292,771,000	290,488,629		2,282,371	・有料道路通行料、警察電話専用料の執行残
刑事警察費	815,096,000	785,605,905		29,490,095	・皇室御来県に伴う警備経費等の執行残
交通指導取締費	417,342,000	409,770,406		7,571,594	・道路使用許可、自動車保管場所証明関係委託料の執行残
交通安全施設整備費	2,020,614,000	2,000,834,033	13,766,000	6,013,967	・信号機改良工事費等の執行残
警察費	37,930,877,800	37,577,488,033	197,417,600	155,972,167	